

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
くにおぼんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」 (共通教材) (4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。	○				

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
和音や低音のはたらき (4月)	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。	○	○			

ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	茶色の小びん 和音のはたらきを感じ取ろう	○「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ○ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。	【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主・①】 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
曲想と音の重なりや和音の響きとの関わりについて理解するとともに、音の重なりや和音の響きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきょうの人々	○「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ○「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。	【知・①】 「こきょうの人々」の曲想と、音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思・①】 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせりつをつくらう  (5月)	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ハ長調の主要三和音に親しむ。		主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
アンサンブルのみりよく (合唱) (6～7月)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			
(3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

ねらい	教材 (◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
いろいろな形態の合唱に興味をもつとともに、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴く。	◎いろいろな合唱	○声の種類や合唱形態について知るとともに、女声合唱と男声合唱を比較して聴き、気付いたことを交流する。 ○女声合唱、男声合唱、児童合唱、混声合唱ごとに、気付いたことや魅力についてまとめる。	【主・①】 いろいろな形態の合唱の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思・①】 音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いている。

<p>音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。</p>	<p>ハロー・シャイニング ブルー</p>	<p>○「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴を捉え、全員でイメージを共有して上声部を歌う。 ○下声部を捉え二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。 ○曲の仕組みや特徴について、意見を出し合ったり確認したりして歌う。 ○「こう歌いたい」という内容を出しあって、更に工夫し、思いや意図を大切に二部合唱する。</p>	<p>【主・②】 自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思・②】 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知・①】 「ハロー・シャイニング ブルー」の曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p>
--------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>題材名</b> (抜い月)	<b>目標</b>	<b>題材の評価規準</b>		<b>歌唱</b>	<b>器楽</b>	<small>ぶくろ</small> <b>音楽</b>	<b>鑑賞</b>
アンサンブルのみりよく (オーケストラ)  (9月)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	<b>知識</b>	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	<b>思考・判断・表現</b>	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴き、オーケストラの音楽に親しむ。	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」	○オーケストラの楽器の名前や、楽器群について知り、組曲「カレリア」から「行進曲風に」を、オーケストラの響きを楽しんで聴く。 ○旋律の反復と変化に気付き、楽器群の音色を捉えて聴く。 ○曲の構造や旋律を演奏する主な楽器の変化を捉え、曲全体を聴く。	【主・①】 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知・①】 「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思・①】 「行進曲風に」の音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「赤とんぼ」 (9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・ 表現				
パートの役わり  (9~10月)	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・ 表現	拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) 曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽 づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	風とケーナのロマンス	○「風とケーナのロマンス」の曲想や特徴を捉えながら、各声部をリコーダーで演奏する。 ○グループごとに演奏の工夫をする。 ○発表して意見を交流する。	【知-①】 「風とケーナのロマンス」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 「風とケーナのロマンス」の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「風とケーナのロマンス」の拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
日本の音楽 (10～11月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

ねらい	教材 (◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と、旋律などとの関わりについて理解するとともに、我が国の音楽の旋律や音色、拍などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴く。	◆子もり歌 (共通教材) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌  (日本の民ようをたずねて)	○日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ○民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。  ○日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。	【知-①】 「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 我が国の音楽の旋律や音色、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。 【主-①】 我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、我が国の音楽の旋律や音色、音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきりこ節  (谷茶前)	○「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。  ○「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「こきりこ節」の旋律や音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-②】 沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
		知識・技能	思考・判断・ 表現				
豊かな表現  (11～12月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
		知識・技能	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・ 表現	旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽 づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	地球の向こう側の君へ ◆冬げしき (共通教材)	○「地球の向こう側の君へ」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて考えをもつ。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲想に合った歌い方を身に付ける。 ○「冬げしき」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「冬げしき」の曲にふさわしい歌い方や声の出し方を考え、自然で無理のない、響きのある歌い方を身に付ける。	【主-①】 二つの歌の曲想や音楽の特徴の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-②】 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-②】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-①】 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。



題材名 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で 音楽をつくらう  (12月)	(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○	
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組み態度	リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。			○		

題材名 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」 (共通教材)  (1月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との間わりや、曲想と歌詞の内容との間わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との間わりや、曲想と歌詞の内容との間わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組み態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (抜い時数・抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
音楽のききどころ (1月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎つるぎのまい	○「つるぎのまい」を、曲の特徴に気を付けながら全体を通して聴く。 ○曲想とその変化などの特徴や、音楽を形づけている要素の関わり合いを体の動きで表わし、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴き、曲のよさや面白さについてまとめる。	【主-①】 「つるぎのまい」の曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「つるぎのまい」の旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
思いをこめた表現 (器楽) (2月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	

	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------------	--	---	--	--

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	ルパン三世のテーマ	○「ルパン三世のテーマ」の曲想を捉え、それぞれのパートを分担し、自分の担当するパートの役割や特徴について考える。 ○合奏したり、パートごとに練習したりする。 ○合奏を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】 「ルパン三世のテーマ」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 「ルパン三世のテーマ」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「ルパン三世のテーマ」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって

題材名 (扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
思いをこめた表現 (歌唱) (3月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのある	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

	ものにしようとする態度を養う。						
--	-----------------	--	--	--	--	--	--

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	君をのせて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「君をのせて」の主旋律の歌い方を工夫する。</li> <li>○下声部を捉え、二部合唱したり、パートごとに練習したりする。</li> <li>○合唱を仕上げ、学習活動を振り返る。</li> </ul>	<p>【知-①】 「君をのせて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>【主-①】 「君をのせて」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「君をのせて」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって</p>